

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学形成外科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026 年 9 月

福島県立医科大学医学部形成外科学講座 佐藤順紀

■ 研究課題名

頬骨体部骨折後の持続性眼窩下神経障害を予測する受傷時 CT 所見
—眼窩下神経管/眼窩下孔に着目した後向きコホート研究—

■ 研究期間

2026 年 9 月 ～ 2027 年 9 月

■ 研究の目的・意義

頬骨体部骨折は顔面骨骨折の中でも多くを占める骨折であり、その後遺症には様々なものがあります。後遺症の一つである三叉神経第二枝（眼窩下神経）の損傷は、頬部や上口唇、歯肉等のしびれ感や感覚低下を引き起こし、これは患者満足度や Quality of Life 低下に関与する重大な後遺症となります。

過去の頬骨体部骨折に関する診療情報を解析することで、その病態の発生リスクや予後を解明することを目的とします。

■ 研究対象となる方

2010 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間に福島県立医科大学附属病院形成外科で頬骨体部骨折の手術を受けた 16 歳以上の方が対象です。

■ 研究の方法

対象となる方の電子カルテ上の診療情報から、年齢、性別、受傷機転、臨床診察の結果、受傷から手術までの期間、CT 画像所見などの項目についてデータを収集・解析いたします。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026 年 9 月 10 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学形成外科学講座であり、研究責任者は形成外科学講座 佐藤順紀です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学形成外科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他の機関への情報の提供はありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部形成外科学講座 担当：佐藤順紀

電話：024-547-1355 FAX：024-548-9700

e-mail：junk@fmu.ac.jp